



躍進する生長の家社会事業団

公益財団法人
生長の家社会事業団
〒186-0003
東京都国立市富士見台 2 丁目 39-1
TEL:042-572-8770
FAX:042-573-9205

「ほんとうの生長の家」の歴史と法脈を継承する
「生長の家社会事業団」の使命

理事長 久保 文剛



真白き花満開の「大島桜」(新宿御苑)

尊師谷口雅春先生が生長の家大神の神啓を受けられ、昭和五年三月一日、「生長の家」誌を創刊されて生長の家人類光明化運動の開始を宣言されました。

それを第一の立教宣言と申し上げるならば、大東亜戦争直後、復刊第一号の『生長の家』誌（昭和二十年十一月号）に掲載された「生長の家

社会事業団の設立」についてのご文章で、谷口雅春先生は、「これは戦後の生長の家人類光明化運動の発進宣言ともいふべき文章であるのである。」（『大和の国日本』「はしがき」）と、第二の立教宣言であることを明言されました。生長の家人類光明化運動の歴史において、「生長の家」の名称を正式に称する最初の法人（法的人格を有する団体）は、生長の家社会事業団であります。

この第二の立教宣言である「生長の家社会事業団の設立」のご文章には、日本救国・世界救済の具体的方策として、天皇国日本の護持を目的とする十項目の構想が掲げられました。これは、日本国実相顕現運動・人類光明化運動として展開され、祖国を救う運動となつてまいりました。

また、谷口雅春先生は、生長の家社会事業団の設立にあたり、聖典『生命の實相』及び聖經『甘露の法雨』等の著作権を永続的基本資産として御寄付され、偉大な真理の法脈を託されました。

生長の家社会事業団では、『生命の實相』『甘露の法雨』等の著作権を大切に護持してその普及に努めるとともに、海外諸国における聖典・聖經の翻訳出版等を援助推進し、多くの人々の魂が救われてきました。

尊師谷口雅春先生より偉大な真理の法脈を託された生長の社会事業団は、立教以来の正統な歴史を継承する唯一の団体である、「真実の生長の家」として益々躍進してまいります。

生長の家社会事業団講師はじめ支援者の方々の真心のご支援ご協力に心より感謝申し上げます。

第1回東京・大真理講演会

354名が参集！！

ほんものにふれた喜びの渦巻き起こる！



参加者あふれるメイン会場

演壇を囲んで拝聴

清々しい青空が広がる1月31日、「第1回東京・大真理講演会」がホテルベルクラシック東京で開催されました。谷口雅春先生のみ教えを正しく学び、伝える東京の18の拠点が集まり、田内川明氏を代表とした実行委員会を結成して、当日を迎えました。

予定を大幅に超える354名の参加者が集まり、サブ会場を手配。演壇ぎりぎりまで人が座り、立つて参観する人もありました。

最初に田内川代表が「ずっと曇り空が続い

た東京に、この講演会から光明化の陽が差した思いがします」と、万感の気持ちこめて挨拶。次に、國弘昭義講師の「幸福を開く鍵」の講話。そして、安東巖講師の「真理は人間を解放する」の講話と続き、会場いっぱい参加者が深い真理の話を喜びに満ち聴き入る姿が印象的でした。最後に安東先生は「これから私たちは『生命の實相』を読んで、人間神の子を行じ、周りを光明化していったとき、谷口雅春先生が願われた日本国の實相顕現・人類光明化が実現していく、そのように頑張りたいと思います」と結ばれ、熱い感動が吹き上げるなか「使命行進曲」の大合唱となりました。

—— 参加者の感想 ——

明るく前を向いて

藤本洋介(仮名)

私は新しい仕事先に馴染めず、業績も上がらない状態でした。

安東先生のご講話で、親を恨む心を止めること。積す心、感謝する心、礼拝する心から道が開かれることが心に残りしました。そして「問題は生き方を変えよのメッセージ、過去の業が消えていく姿、神の栄光が顕れんがため」と落ち着いて考え、明るく対処していこうと思えます。

これから前を向いて明るく仕事に立ち向かっていきます。

500名が受講!!

全国に1,000の講師・1,000の誌友会を目指して

谷口雅春先生の真の弟子となる「生長の家教義」研修講座!

平成28年2月26日、28日、「生長の家教義」研修講座を愛知県名古屋市の「金山プラザホテル」にて開催しました。

これまで、東京、福岡、神戸、再び東京、仙台、岡山、そして今回の名古屋と開催し、延べ500名が、「谷口雅春先生の真の弟子となる!」との決意をもって受講しました。

7会場目となる名古屋会場では76名の参加者が参集し、深い感動の裡に、喜び一杯、真剣に受講。その結果、真の生長の家を次世代につなぐ決意に立ち、新たに22名が「講師」の申請を提出、「誌友会」発会の決意が6会場を数えました。(詳細は「生長の家教義」研修講座名古屋会場報告をご覧ください。)



体系的に教義を学ぶ受講者

さあ、次は「東京会場」です!

「生長の家教義」研修講座

日程・平成28年5月27日(金)・29日(日)

会場・リフレフォーラム

(東京都江東区大島7の37の11)

お申し込み・お問い合わせは

070 2820 0631 まで

講師手帳!

本欄は、「真実の生長の家」の講師として、多くの人々を幸福人生へと導くための要点を記しています。講師活動に生かしていただければ幸いです。

「運命を好転させるに大切なこと」①

「不幸を引きつける心の磁石を捨てること」

「人間の子」の信を確立すること」

國弘昭義

私たちは、「運命」を自分ではどうすることもできない「宿命」と捉えたり、偶然的に他動的にやってくると思えがちですが、運命はわが心(想念)によってつくられ、変えることができます。

尊師は、運命が傾くというのは、その人の「心」の中に不幸な事件を引き寄せる磁石が出来ているからであり、「自分自身の心境が変わって、自分自身の心が幸福を引き付ける磁石になれば、幸福は自然に自分自身の周囲に集まって来る」と説かれています。では、この不幸を引き寄せる「心の磁石」を取り去るためにはどうすればよいか。尊師は次のように諭されています。

「心の内に神という無限力に生かされているという自信がなく、自分の生命は物質の偶然的集合でつくられていて、外から加わる偶然の力で直ぐ破壊してしまおうという誤れる生命観が吾々の心の奥底の大部分を占領していると、それが磁石となって不幸を引寄せる、病気を引寄せる、そのほか様々の人生苦を引寄せる。だからこの「磁石」を取除けるためには、何よりまず、自分は大生命の無限力に生か

されているという徹底した大信念を心の奥底に築き上げて、自分の生命は決して物質の偶然的集合でつくられたものではなく、常に大生命の無限力で護られているという真理を心の奥深く信ずるようにならなければならぬ」(新編『生命の實相』第二巻)

かつて、中学生練成会に参加した原田和枝さんも、不幸を引きつける心の磁石を捨てた一人です。

和枝ちゃんは、右手をずっと人に見られないよう隠していました。しかし、「人間の子」に目覚めた和枝ちゃんは、最終日みんなの前でその右手を広げ、胸を張って堂々と「私の右手は神の手です!」と叫びました。

「私は生まれた時から、人より手が小さく、腕も短く、みんなと一緒の手ではありません。だから隠して、自分が障害者だと言えませんでした。でも、今は胸をはって、自分の右手のことを笑顔で言えます。私を産んでくれた父母にたくさん感謝したいです。私は生まれてきて本当によかったです。」

「神の子和枝ちゃんの手」は「神の手」。この日から和枝ちゃんの運命は好転し「幸福人生」が始まったのです!

五つの 事業

イスラム圏で初の快挙!!

谷口雅春先生のご著書を出版!

『生活読本』が、インドネシア語に翻訳されインドネシア国内の書店に配本されました。初版発行部数は三千部です。

全世界で最大のイスラム教信者を有するインドネシア。谷口雅春先生のご著書が現地語に翻訳されて出版されるのは初めてで、宗教史的にも大きな意義があります。

翻訳、出版に尽力されたチヅル・トクワインさんの「谷口雅春先生のみ教えをインドネシア語で伝えたい」との決意が実現につながりました。



- 『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』を永遠に護り抜く!
- 「谷口雅春先生記念図書資料館」の充実拡大!
谷口雅春先生が残された御著書を誰でも閲覧できるように全国都道府県に図書資料館分館を設置する。
- 日本一の「児童養護施設生長の家神の国寮」の実現!
4面に神の国寮幼児ユニット『ひだまり』の様子を掲載しています。
- 「生長の家教義」研修講座と「青少年練成会」の全国開催!
「生長の家教義」研修講座は2面と「報告新聞」に掲載しています。「青少年練成会」は平成26年伊勢を皮切りに、昨年は4会場で開催。
- 「谷口雅春先生記念館」創設に向けて!

わがうちに神のコトバあり、神がそのコトバにて天地一切のものを造り給いが如く、われも亦わが身辺、わが運命の一切をわがコトバにて造るのである。(谷口雅春先生お言葉より)

創立七十周年記念事業、献資奉賛の輪拡がる!!

創立七十周年を期して谷口雅春先生の聖なる使命実現のために「五つの事業」(詳しくは下欄をご覧ください)の前進の為に、御献資奉納のお願いをさせて頂いております。現在、一六八名の方々が尊い献資を、お申し込みくださいました。ここに謹んでご芳名を記載させていただき、深甚の感謝を捧げさせていただきます。ひき続き皆様の益々のご理解ご協力、絶大なるお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

奉賛者よろこびの声

念願通りの家を新築

報恩感謝で献資します!

栃木県 吉田末美子

私は主人の転勤に伴い、長崎、兵庫、大阪、山口等転々としながら、生長の家の活動を続けて参りました。平成20年に主人も無事定年退職を迎え、自宅のある栃木県那須塩原市に帰ってきました。

自宅は築30年で、もつと陽当たりの良い所に新しい家を建てたいと思っておりましたが、なかなか主人が同意してくれませんでした。

そんな中、退職後7年経った昨年、郷里である北海道へ念願叶い、漸く募参する事が出来ました。すると帰宅してから私が願っていたような陽当たりの良い明るい場所に家を建てる話が舞い込み、主人も賛成してくれ、トントン拍子に新しい家を建てる事が出来ました。私は嬉しくて有難くて、これ



も神様、ご先祖様のお蔭だと感じました。そのお蔭を私してはならないと思ってい

五つの事業を支える奉賛者

【年払い献資 ご芳名】

〈5万円〉濱田博、天野比呂史、佐藤雅春、峯松裕、世古口修一、野田美香、松岡恵美子、菅原道夫、匿名一名〈3万円〉目黒玲子、本間明、菊池加奈子、湯山加奈江、伊東カオル、矢萩洋子、谷口雅春先生を学ぶ会さいたま支部、吉富絹夜、小野沢大史、小田島佳子、鶴飼捷雄、匿名一名〈1.5万円〉坪内重貴、市村恭子、松永清美、松永トシエ、江田ヒロ子、大井満江、中嶋祐子、高山悦子、木幡睦洋、高森百合子、山本泰藏、丹羽冬紀子、谷晃吉、田中輝代、石田晋、玉木伸芳、大木真、大木きみ子、大木智康、加藤玲子、中澤美津子、中條芳男、目黒美記子、中沢行雄、匿名十五名〈他〉堀井光子、濱田和彦、八巻好生、本間良一、長谷川美智子、岩田富士雄、中尾倭文雄(敬称略・順不同) 3月22日現在

【奉賛献資者 ご芳名】

〈30万円〉匿名一名〈10万円〉森藤左工門、三橋靖子、門馬テル子、永井邦男、猪狩圭子、森耕二、池澤淑枝、川瀬善業、匿名三名〈66万円〉匿名一名〈33万円〉井上祥子、医療法人社団日新会新井整形外科新井治男、清輝輝江、古屋夕方、小田克久、田中ウ子、濱中光雄、書写書道教育研究所代表河野千英、岡田正、吉田末美子、向吉禮子、出口正博、藤村静子、鈴木章子、徳満静子、高橋益司、又野陽子、三浦芳樹、森本實千代、三道綾香、谷本須満子、内藤正枝、有森義典、西岡正堯、清水稔、岡村源治、岡村邦子、岡村紀男、岡村芳子、中島統、小西謙吾、小西英子、長谷部良知、藤岡ちや子、岡村佳明、田村愛子、宮原博子、栗原秀治、岡田きよゑ、菅原洋子、高倉光枝、鈴山恭子、宮辺洋子、藤井純子、山本由喜美、木村正行、片山智由利、服部あき子、松岡紀美子、吉田清美、加藤八重子、匿名三十名〈10万円〉細谷高彦、測上フサ、谷口雅春先生を学ぶ会いわき支部、大上君子、丸山博、匿名四名

たところに宇都宮講演会で國弘昭義講師のお話を聴いて、これだ!この70年記念事業にお役に立ちたい!と思いました。そして些少ではありますが、33万円を献資させて頂きました。

今後、生長の家社会事業団の「五つの事業」が拡大発展し、谷口雅春先生のお志が受け継がれ、弘まりますことを心より願って協力させていただきます。

谷口雅春先生墓前にて誓い新たに

—創立七十周年奉告祭—



欠保理事長による祝詞奏上

創立七十周年を迎えた一月八日、東京都府中市多磨霊園の谷口雅春先生墓前に於いて、「奉告祭」を厳かに執り行ないました。

谷口雅春先生が昭和21年、烈々なる日本救国の熱願のもと

生長の家社会事業団を創立され、占領下の困難な状況の中でも、祖国再建・天皇国日本実相顕現運動を結実していかれた歴史を一言一言噛み締めるように祝詞が奏上されました。参列者は尊師の志を継承し、実現の誓いを新たにしました。

谷口雅春先生記念図書資料館開設5周年

—尊師の全てのご著作を後世に継承し広く伝える使命を担って!!—

内閣総理大臣の認定を受け、図書館法に基づき「谷口雅春先生記念図書資料館」を東京都国立市に設置してから、この4月で5年を迎えます。

尊師谷口雅春先生は、昭和20年11月に発表された「生長の家社会事業団の設立」において、日本再建の10項目のご構想の一つに「図書館の設置」を掲げられました。

永久保存のため、書庫は閉架式ですが、1階の閲覧コーナーは、現在重版保留となっている聖典も全て閲覧することができます。(ご希望の方は、予めご連絡ください。)

このたび、全国都道府県に分館を設置して頂くよう呼びかけています。尊師のご著作を後世に継承し、広く伝えるため、ご協力をよろしくお願いいたします。



専門業者による脱酸処理を施した書籍、資料を保管する書庫

現在約1万冊の書籍、資料を収集保存し、谷口雅春先生ご著書については国立国会図書館の蔵書数を上回ります。



立教初期頃の「生長の家」誌

生長の家神の国寮幼児ユニット「ひだまり」の子どもたち

4月からピカピカの一年生に！



神の国寮には、4つのグループホーム（一軒家に6人の子どもたちが生活）と、4つの本園ユニット（本園2階・3階）があります。本園の「ひだまり」ホームは、幼児2歳から幼稚園児までの7名の子どもたちが生活しています。2歳児は園内保育、他4人は地元の「ママの森幼稚園」に通っていて、年長さんの2人は4月からピカピカの小学校1年生に！この日は卒園式、おめかしして写真撮影。

「ひだまり」ホームには、常勤職員5名が交代で24時間子どもたちに寄り添い生活をともにしています。常時2名以上の職員が配置され、片時も目を離すことなく安心安全の養育に努めています。

神の国寮を見学してー感動の手記

谷口雅春先生のご業績に涙

栃木県 細谷高彦

1月7日、昭和天皇御陵参拝の帰り、近隣の生長の家神の国寮を見学させてもらいました。くりっとしたつぶらな瞳を私

たちに向けてくれたその幼子たちは、おやつ時間。まるで、子供用品のコマーシャルに出てきそうなかわいい子ばかり。こんなかわいい子がどうして自分の父母と一緒に暮らせないのか。こんなかわいい子を授かりながら手元で育てることができない母親、父親がこの世にいないことを思うと、胸にこみ上げてくるものがありました。

ここは、幼児専用の2階のユニット。一つのユニットには、7つの個室と共用スペース、台所、お風呂、トイレがあり、職員の管理室を中央に隣のユニットとつながっています。

3階のユニットは、少し大きなお兄ちゃんたちのユニット。そこには、やんちゃ坊主のお兄ちゃんや、元気に走り回って微笑ましいわんぱくぶりを発揮。けがをしないように柔らかい床材の配慮がされている。共用スペースの中央には、子供たちから見やすい高さに神棚が祭られ、子供たちを見守っている。1階のスタッフ部屋は、ガラ

ス張りで開放感があり、組織内の風通しの良さを感じる。

理事長室で、創立当時の古いアルバムを見せて頂いた。終戦後間もないのに、クリスマス会を開き、集合写真には慈愛溢れる谷口輝子先生のお姿もあり、あちこちの写真に納まっていらいらっしやる。その三角コーナーで貼られた白黒写真から、こちらに眼差しを送って来る被災孤児の少年少女は、日本人として、しっかり生きて行こうとする、背筋の伸びた凛としたものを感じました。谷口雅春先生が、自



昭和26年12月26日のクリスマスパーティ (中央・輝子先生)

4月の行事日程

日程	行事	時間	場所
1日(金)	月初め感謝祭	10時～	記念図書資料館屋上
22日(金)	謝恩祭・物故者慰霊先祖供養祭	10時～	記念図書資料館
	新編『生命の實相』輪読会	13時30分～	同所

5月の行事日程

日程	行事	時間	場所
1日(日)	月初め感謝祭	10時～	記念図書資料館屋上
23日(月)	謝恩祭・物故者慰霊先祖供養祭	10時～	記念図書資料館
	新編『生命の實相』輪読会	13時30分～	同所
27～29日	「生長の家教義」研修講座	27日9時30分～29日16時	リフレフォーラム(東京都江東区)

※尚、毎日9時30分より感謝祭・供養祭を行っています。(祈りの間)

ら命名された孤児の方もいらしたそうです。また、卒園してから野球中継の名アナウンサーとして大成された方や、東大に進学した孤児もいたとの事。こうした孤児救済のための、衣食と教育の環境を、敗戦の混乱の中、いち早く立ち上げられた谷口雅春先生のご業績を思うと、ただただありがたく、また、涙がこみ上げてきました。

今を生きる私たちは、実際活動を通して人類光明化を目指された谷口雅春先生のご遺志を受け継いで、「生長の家社会事業団」の活動に心を寄せていきたいと思えました。

編集後記 清明、4月9日の朝、安部総理大臣主催の「桜を見る会」に新宿御苑へ行って来ました。新宿御苑は八重桜が満開で、風が吹くとソメイヨシノの花びらが舞い、広場はピンクの絨毯と、グリーンの芝生のコントラストで美しい光景でした。その中で一際目をひいたのは、樹齢数百年はあるだろう大島桜(巻頭の写真)。白い花満開に、広場に聳え立っていました。その巨木を見上げながら「この大島桜のように、谷口雅春先生のみ教えが数百年、数千年、根を大切に満開の真白き花を咲かせますよう、力を尽くそう」と、誓ったことでした。もう一つ嬉しいエピソードは「谷口雅春先生の御悲願実現！憲法改正！」の祈りをこめて、安倍総理とハイタッチが出来たこと。安倍総理が爽やかな青年志士のように見えました。(木下)